

平成 26 年 4 月度第 1 回わが街つくる会定例会議事録（通算 174 回）

日時：2014-4-3（木）19：30～21：30

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、奥村、堀井、中井、戸所、森川、岡本、杉中、川上、
竹吉、乾 以上 12 名

議事内容：（司会：川上）

1. 今日の一言（川上）

大津市消防団平野分団に入団し、30 年近く活動をしている。消防団員は非常勤の地方公務員で、警備活動、消防訓練、警戒活動等の定状活動の他災害時の救助活動を行っている。昨年度は 8/1 の馬場 2 丁目の火災、9/16 に石場町で起こった台風による土砂崩れ生き埋め救助活動に緊急出動した。また、年間数十回の定状活動にも従事している。平野分団の定員は 28 名であるが、現在分団員は 25 名と 3 名が欠員である。地域防災力の充実強化は大きな課題であり、志のある方々の入団を期待している。

2. 平成 25 年度わが街つくる会の活動を振り返って（橋本）

1)ハロウィン

ハロウィンを商店街の祭りから「平野の祭り」となるよう位置づけて充実させて行きたい。そのためには実行委員会の在り方を見直し、委員会が強力なリーダーシップを発揮出来る運営を図りたい。内容についてはメインイベントである仮装パレードの盛り上げに一工夫二工夫して行きたい。祭りの結果報告を住民に伝えることもやって行きたい。

2)われら平野探偵団

25 年度は「ひらの再発見」1～5 号を発刊出来目標を達成した。今後の運営の課題としては広告の安定的確保と、女性や若者の団員確保である。5 号までは歴史的な特集を組んだが、今後は平野の防災や平野の祭り等も特集に取り上げてみたい。本企画の住民の評価の声も聞きたい。「ひらの再発見」の発刊を経費的観点から 2 カ月毎⇒3 カ月毎への削減意見もあるが、何とか広告料確保に努力し 2 カ月毎を継続したい。

3)平野小祭りへの協力（お化け屋敷）

昨年度はメンバーの努力により好評裏に運営出来た。今年度も協力して行きたい。27 年度からは校舎の耐震工事が始まるので中断となる。

4)駅前花壇

今年度も大津市に助成金の申請を行い認可された。助成額は何故か昨年度より千円アップし、2 万 6 千円となった。

5)その他

現在のわが街つくる会の会員数は21名と発足時に比べ減少している。
新規会員の確保に努めたい。

3. 平野学区まちづくり協議会（仮称）の設置構想について（堀井）

学区内の様々な課題に各種団体、企業、行政が協働して取組み、その解決推進を図るために中心的役割を担う組織として、「まちづくり協議会」を設置したいとして、自治連で検討が進めている。

3月25日に第1回提案会議を開催したが出席者は、9名であった。（27団体等に出席要請）今回、同会議の議論の様子が紹介され、わが街としてどう考えるか意見交換した。主な意見は以下の通り。

- ・まちづくり協議会（以下まち協）の設置趣旨、掲げる課題等はわが街つくる会が取組もうとしたものと同じ。わが街の活動は一定の役割を終えた。次のステップに向かうためこれを発展的解消し、まち協に合

体として協働で問題解決に取り組んだらどうか。

- ・まち協とわが街では性格が全く違う。まず、まち協は団体をメンバーとし、わが街は個人の集まりである。夫々存在価値はあると思う。まち協の具体的活動内容は不明であり、現時点でわが街を解消する必要はない。夫々の良さを生かしながらコワークも含め議論して行けばよい。

4. 湖国の特産（岡本）

1)えびまめ

えびまめは琵琶湖で獲れるスジエビと大豆を醤油、砂糖、みりんで煮詰めた滋賀の家庭の味である。スジエビはダイコン、ゴボウ等と煮てもおいしい。

2)近江野采

滋賀の伝統野菜としては、北之庄菜（近江八幡）、万木菜（ゆるぎな、高島）、日野菜（日野町）等のカブや万次郎南瓜（近江八幡）が有名。他に守山メロン、九条葱等もある。

5. 次回定例会の開催に就いて

4月17日（木）19：30～、於）市民センター会議室

*4月5日（土）8：30～花壇草ぬきを実施した。（参加者6名）

以上